

**みんな電力株式会社が**  
**世田谷区内で電力の「地産地消モデル」初案件となる**  
**「IID 世田谷ものづくり学校」への電力切り替えを実現**

電力自由化を前に、みんな電力独自コンセプトである「顔の見える電力」を活用した自ら使う電力を自らが選び使う「オーダーメイド発電所」のライフスタイルを新たに創出！

---

みんな電力株式会社(所在地：東京都世田谷区、代表取締役：大石 英司)は、自然エネルギー活用促進の取り組みを行っている世田谷区において、2016年2月1日より、区内の社有太陽光発電所から区内の複合施設「IID 世田谷ものづくり学校」への給電を開始いたします。同施設は株式会社ものづくり学校が、廃校となった中学校校舎を世田谷区から借受けて運営する複合施設で、今回は、同社が給電事業者を従来の東京電力株式会社から同施設内に本社を置くみんな電力株式会社に切り替えることにより給電を開始するものです。

本件は、弊社が推進している2つのビジネススキーム「電力の地産地消」および「顔の見える電力」によって成り立つ世田谷区内で初のエネルギーモデル事業になります。

一つ目の「電力の地産地消」とは、「地元で作った(発電した)電力を地元で消費する」、野菜や果物では広く普及している地産地消の考え方を電力に取り入れた考え方です。同じエリア内の電力需要と供給がマッチすることにより成り立ちます。

二つ目の「顔の見える電力」とは、弊社がオリジナルに開発しました「enection (エネクション)」※1を有効活用し、「需要家(消費者)が、「こだわりや特徴、付加価値の付いた発電所、例えば、福島県復興に貢献する発電所等を自らが選び、その発電所へ電力料金を支払う」という考え方です。これは、現在の電力の自由化および欧州で成長するバーチャルパワープラント(通称：VPP)と呼ばれる仮想発電所ネットワークの概念を弊社がアレンジした、国内初となる新たな電力流通のビジネスモデルです。弊社が発電事業者と需要家(消費者)とを結びつける橋渡し、電力というエネルギーを通してのソーシャルエネルギーサービスを行う、と考えています。

本件、契約電力すべてを世田谷区の社有太陽光発電所だけではまかないきれないため、パートナーである表参道の太陽光発電所および他のパートナーの大型太陽光発電所から弊社が電力を買い入れ、IID 世田谷ものづくり学校へ給電します。これは、世田谷区の太陽光発電を選び、世田谷区で消費する「電力の地産地消」であり、さらに渋谷区の太陽光発電所を選び、世田谷区で消費する「都産都消」のエネルギーモデル事業でもあり、世田谷区における「顔の見える電力」として初のエネルギーモデル事業となります。

# みんな電力

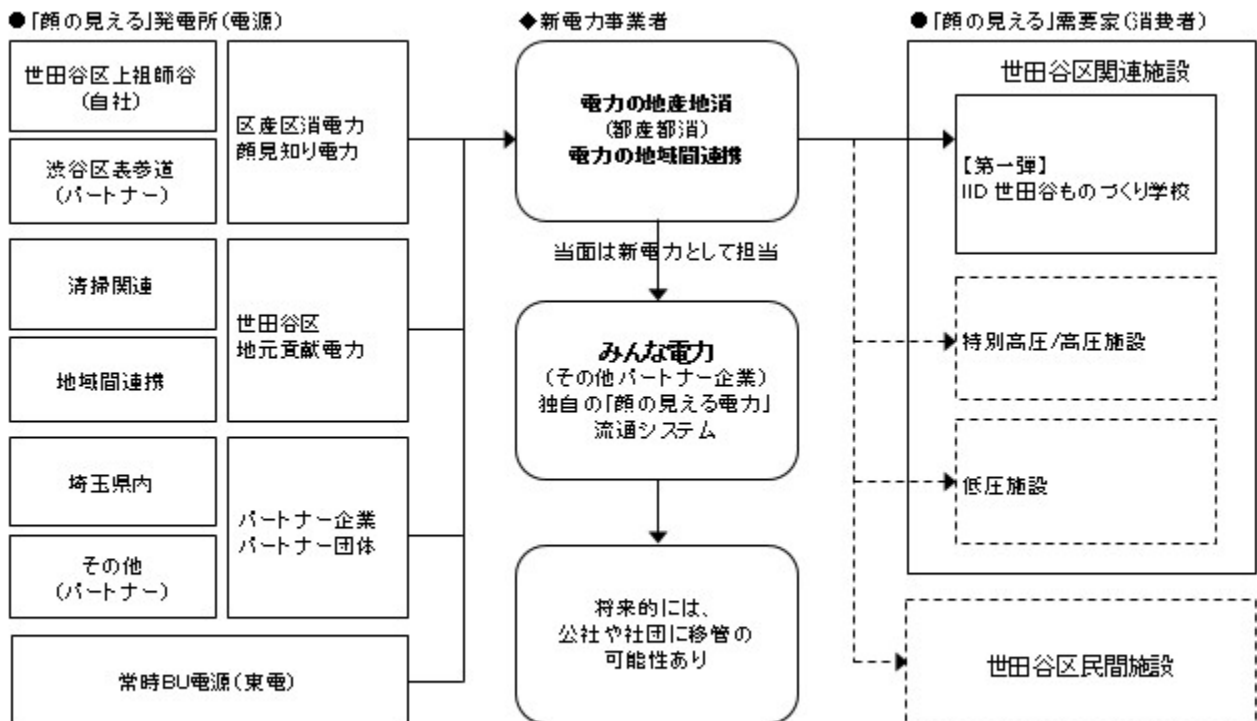
太陽光発電は、天気に大きく左右され、特に夕方から翌日朝方までは発電できないことから、安定電源として東京電力の常時バックアップ電源も利用します。さらに今後は、太陽光発電 + 蓄電池の組合せや燃料電池との組み合わせも行っていく予定です。

弊社は、世田谷区内で「顔の見える電力」として初のエネルギーモデル事業となる「IID 世田谷ものづくり学校」への「電力の地産地消」および「顔の見える電力」を事業として進めながら、国が進めている「地方創生」に電力というエネルギーの面から携わり、元気な地方、活気のある地方創生の一助につながればと考えています。

電力はもはや一部の人間が独占する財ではありません。おじいちゃん、おばあちゃん、ギャルもちびっ子も、そして地域も、みんなが繋がり、電力を創り、財を得られる。その仕組みを弊社が作ります。これこそが「ソーシャルエネルギー」の考え方なのです。そのためには今後ますます、「電力の地産地消」および「顔の見える電力」の普及促進に邁進していく所存です。

※1：enection（エネクション）：株式会社セールスフォース・ドットコムが提供するクラウド型プラットフォーム Salesforce 等を活用した、PPS(新電力)向け電力小売りのトータルソリューションシステムです。

## みんな電力が考えるエネルギーの地域間連携概念図



民間主導プロジェクトとして、世田谷区関連施設より実施

## みんな電力が推奨する2つのビジネススキーム概要

---

### 電力の地産地消：

「地元で作った(発電した)電力を地元で消費する」、野菜や果物では広く普及している地産地消の考え方を電力に取り入れた事業です。同じエリア内(区市町村レベル、都道府県レベル、そして広くは東京電力さまや関西電力さまといった電力会社ごとの管区レベル)の電力需要と供給がマッチすることにより成り立つことができます。電気(電力)は、基本的に保存することができません。発電した電気(電力)は、すぐに消費する必要があり、需要と供給の同時同量が求められます。また、需要と供給が狭いエリア内でクロージングできる場合、託送料金の割引を受けることもできます。2016年4月からの低圧電力の規制緩和を目前に控え、今後は弊社が推奨する「電力の地産地消」という考え方が広く普及していくことを期待しています。

### 顔の見える電力：

従来、電気(電力)に色はない、つまり一般電気事業者(東京電力さまや関西電力さま)が発電した電力も再生可能エネルギーを用いた太陽光や風力で発電した電力も同じ電力である、そこにあえて「付加価値」という色を付けて販売する考え方で、ふるさと納税の考え方に似ています。この考え方にVPPの考え方をプラスすることにより実現する、弊社オリジナルの考え方です。弊社が「こだわって選別した」、「こだわりの発電所」を自らが選んでその電力を使う、使い続けることにより、発電事業者から「付加価値」というサービスが付いてくる、発電事業者と需要家(消費者)が弊社を通じて知り合える、そんな「エネルギーソーシャルコミュニティ」を創りたいと考えています。

ふるさと納税 5 つの特徴の内、3 つの特徴は同じ考え方ではないでしょうか。

#### 1. 特産品がもらえる！

「ふるさと納税」をすると納税した自治体から特産品や工芸品等、各地域のお礼の品がもらえる。

⇒例えば、1年以上継続して電力をお使いいただくと、発電事業者さまから地元の特産品がもらえるかも…

#### 2. 生まれ故郷でなくても OK！

ふるさと納税の寄附をする自治体は、生まれ故郷でなくても良い。

⇒弊社とご契約される場合に限り、電力を購入する発電所をお客さまが選ぶことができます。例えば、北海道が好きだから北海道の発電所(太陽光・風力・水力・バイオマス発電所等)から電力を購入したい、沖縄が好きだから沖縄の発電所から電力を購入したい、もちろん生まれ故郷の発電所からも、福島復興に少しでも協力したいとの思いがあれば福島の発電所を選び、その選んだ発電所に電力料金をお支払いすることが可能となります。また自治体であれば、姉妹都市や連携都市から電気を購入する「電力の地域間連携」を行うことも可能です。

#### 3. 複数の自治体から選べる！

複数の自治体「ふるさと」に寄附を通じて支援できます。

⇒弊社とご契約される場合に限り、お客さまの契約電力量の範囲内で電力の購入先を複数選ぶことが可能となります。自らが発電所を選んで購入する、そんな新しいライフスタイルがもうすぐそこまで来ているのです。

## 「ものづくり」のベース・原料は、「電力」と考えます。

---

### 「新しいものづくり」と「オーダーメイド発電所」の密接な関係

製造業のものづくりプロセス、サービス業のものづくりプロセス、このどちらの「ものづくりプロセス」のベース・原料となっているものが、「電力」だと考えます。

「ものづくり」とは本来、需要家(消費者)がワクワク・ドキドキするようなものを考えること、それをつくり・生み出すことの2つの局面から成り立っていると考えます。まずは「考えるプロセス」において、生産者、職人、デザイナー、アーティスト、クリエイター等の皆さまが需要家(消費者)をワクワク・ドキドキさせる製品やサービス、付加価値をつくり・生み出すときに考え、悩み、調べ、相談等を行うとき、PC やタブレット・スマートフォン、プリンターやプロジェクター等の電子デバイスを使うことでしょう、その電子デバイスを動かしているものは何でしょうか、そうです、「電力」です。次に「考えるプロセス」を形にする「つくるプロセス」、ワクワク・ドキドキさせる製品やサービス、付加価値をつくり・生み出す過程で一般的に消費されているものは何でしょうか、そうです、これも「電力」です。これからのことから、「ものづくり」のベース・原料は、「電力」と考えています。

2016年4月からの電力自由化を目前に控え、需要家(消費者)をワクワク・ドキドキさせる製品やサービス、付加価値のベース・原料となる「電力」を今までよりもこだわって、自らが選んで購入してみませんか。これこそが、当社が考える「新しいものづくり」だと考えています。

次に、当社が考える「オーダーメイド発電所」とは、発電事業者が発電所と名の付く設備をその土地に建設しようとするその時から、第一に環境や地域、そしてその地域にお住まいの人々の生活を考え、最先端の環境対策を行い、そしてその電力をお使いになる需要家(消費者)を考え日々の発電業務にあたる、それら発電事業者の「こだわり」を持って作られた発電所が日本国内に多数存在しています。その発電事業者が「こだわり」を持って作った発電所からの電力を需要家(消費者)が当社のエネクションを介して自らの「こだわり」によって発電所および電力を選ぶ、まるでスーツや車、家を購入する際に自らが材料やその産地、作り手を選ぶことと同様、まさしく「オーダーメイド」でものづくりするように自らが使う電力も「カスタマイズ」し、「オーダーメイド」された発電所を選びその電力を使う、弊社はこれを「オーダーメイド発電所」と名付けました。「オーダーメイド発電所」は、「顔の見える電力」の進化形です。

需要家(消費者)が「オーダーメイド発電所」を選びそしてその電力使う楽しさ、面白さ、喜び、満足等が、弊社を通して実現できると考えています。今までになかったそんな新しいライフスタイルがもうすぐそこまで来ており、その新しいライフスタイルをみんな電力が創出いたします。これからの弊社の活動にどうぞご期待ください。

「ジョシエネ LABO」の活動、どうぞご期待ください。

---

## 「ジョシエネ LABO」とは

みんな電力の女性向け環境エネルギー啓発事業「ジョシエネ LABO」は、環境やエネルギー、社会貢献をキーワードに、女性の学習や活動をサポートするプロジェクトです。世の中で話題になっているテーマでオープン講座を企画したり、社会貢献活動の場づくりや女性目線のアイデア出し、情報交換会などを行っています。

## 「やさしい電力自由化講座」を定期的を開催しています」

ジョシエネ LABO では、定期的に「やさしい電力自由化講座」を開催しています。その中でも電力の産地や由来を重視した電力購入を希望する声は多く聞こえており、弊社の行う「顔の見える電力」実現への期待度は非常に大きいことを実感しております。講座への参加は無料です。ご自身のライフスタイルに合わせた関わり方で、ジョシエネ LABO およびやさしい電力自由化講座に参加してみませんか。環境やエネルギー、社会貢献に意識の高い女性の参加をお待ちしています。

## 本プレスリリースに関するお問い合わせ

---

みんな電力株式会社 新電力事業部

下記、お問い合わせフォームからお問い合わせください。

URL : <http://minden.co.jp/contact>

phone : 03-6805-4624

## 会社概要

---

会社名 : みんな電力株式会社

所在地 : 東京都世田谷区池尻 2-4-5 IID 世田谷ものづくり学校 210 教室

資本金 : 8,800 万円 (資本準備金含む)

設立 : 2011 年 5 月

代表者 : 代表取締役 大石 英司

事業概要 : 1.電源開発事業  
2.新電力(PPS)事業  
3.パーソナルエネルギー事業  
4.次世代エネルギー事業

URL : <http://minden.co.jp>

Facebook : <http://www.facebook.com/enetomo>

Twitter : [https://twitter.com/minden\\_PR](https://twitter.com/minden_PR)